

宣言! 祈ろう そして 復活を誓おう

医療法人東西会 「世界に向けてのメッセージ」

SHOW THE FLAG!! 未来からの明かりを照らす!

令和維新

人命や健康の維持が経済回復への鍵となる。 来たるパンデミックへ準備しよう!

第41回

SHOW THE FLAG!!

～つながって、共に創る未来へ～ 夢と幸せを求めて!!

さて、いよいよ「社会保障領域」において「2025年問題」の時代に突入しました。 私たち医療従事者は、好むと好まざるとに関わらず、その負託に応えなければならないと強く思っています。



情報はネット上で公開されていますが、約10年前のある日に厚生労働省から「2025年問題」、「保険医療2035提言書」など国の医療政策を指導していただきました。

私は現在まで愛媛新聞紙上に月1回のペースで広告を掲載し続けており、今回が41回目になります。 広告の大きな「テーマ」はその時代の「生き方」や「想い」、「感性」を生命科学的、数学的、医学的な観点、そして「SEDAモデル」からアイデアをもらい、私なりの行動経済哲学から「愛と観智を矜持とす」としてきました。



また、タイトルを 1回目から20回目は「未来への道しるべ」、 21回目から37回目は「日本の心 宅配便」、 38回目から40回目は「人生100年時代の道しるべ」としました。 本日41回目からは「令和維新」とします。

いよいよ「2025年問題」に対しての実践が始まりました。時代の到来です。

私は資料集めや研究の時期はすでに終わり、「混沌とした混迷の時代」を生き抜く視座ができあがっております。 その視座とは「倫理資本主義」を実践する事ではないかと私は思っています。

「倫理資本主義」とは倫理的な要素を遵守する企業こそが持続的に成長する企業になり得るという信念に基づく考え方であり、「改革」する能力を得て「実践」することで新たな道筋への発見と自信につながり、いかなる困難をも打ち砕くのであろうと信じております。

私が現在注目している「ディープテックスタートアップ」は、地球温暖化や食料問題など人類にとって重要な社会課題を根本的に解決できる可能性を秘めています。技術を実践し課題解決を実現させるまでには非常に多くの困難があります。

私たちの在宅医療分野に関しては以前から2025年に向けてバックキャスト手法を用いて「2025年問題」に役立つ強力な組織作りを行い、前進するに足かせとなるものは「ダウンサイジング(縮小化)」をしてまいりました。そこには過去に類をみないほどの困難さがありました。

しかし、その困難があったからこそ私の考える以下の喫緊の課題6つ

- ① 不況
② 災害
③ 戦争・テロ
④ 感染症 (COVID-19、インフルエンザなど)
⑤ 地球温暖化・沸騰化
⑥ 財政 (健全化・規律)



これらに対して勇気を持って解決していこうと思うのです。 そしてこれこそが私の目指す「令和維新」なのです。

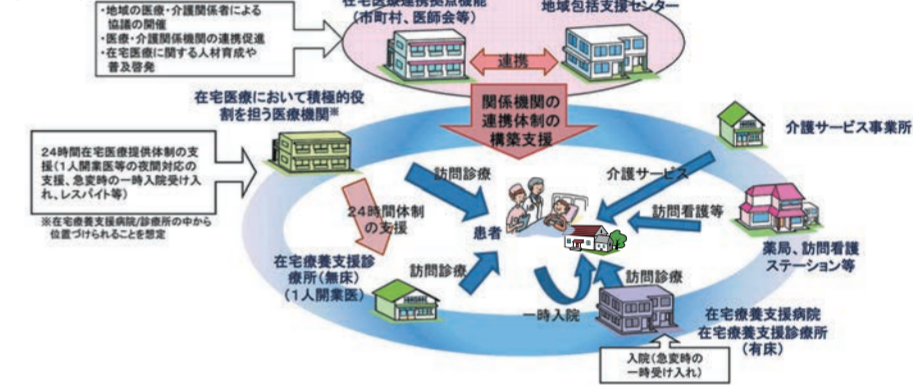
2025年問題

患者さま中心の医療体制 在宅医療を中心に病院治療が補完

在宅医療・介護の連携推進の方向性

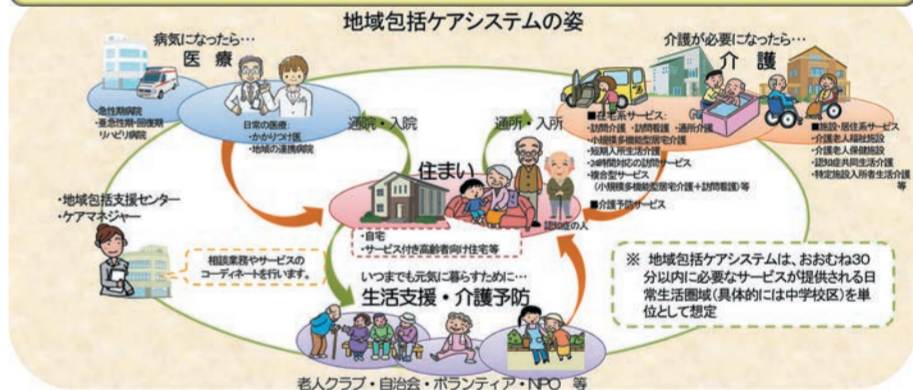
- 疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療・介護の連携(※)が連携して、包括的に継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要である。
(※)在宅医療を支える関係機関の例
・地域の医療機関 (定期的な訪問診療の実施)
・在宅医療支援病院・診療所(有床) (急変時に一時的に入院の受け入れの実施)
・訪問看護事業所 (医療機関と連携し、服薬管理や点検、褥瘡の予防、洗濯等の看護ケアの実施)
・介護サービス事業所 (入浴、排せつ、食事等の介護の実施)
○ このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を図る。

(イメージ)



地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
○ 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
○ 人口が概ね75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。



出典/厚生労働省HPより

2025年には団塊の世代が75歳以上となるため、社会保障関係費が一般会計歳出の40%を超え、財政破綻が起きないようにしなければなりません。 厚生労働省としては424公立・公的病院に再編検討などの医療政策もなされています。

無料動画共有サイトに右の動画を公開中! ぜひ、ご覧ください。



令和の時代 コロナ・災害・不況の嵐だ!



生きる証もない暗黒時代



しかし、朝の来ない夜はない!



今、私たちは立ち上がった! どないかせんといけん



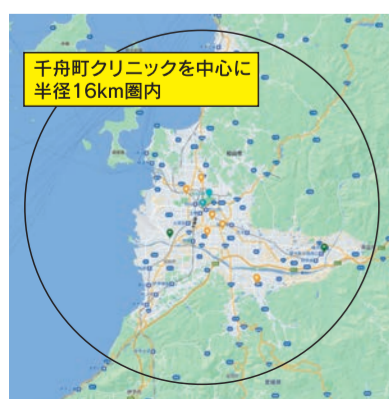
令和プロジェクトフューチャー! 私たちは「社会保障領域のブランド」を掲げて発信す



私たちが「社会保障領域のブランド」を掲げて発信す

お医者さんが来てくれる!

365日・24時間体制で対応 (松山市全域)



医療法人 東西会グループ 外来診療 (かかりつけ医) 内科 要予約 内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科 (医師/薬村 歩)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。

在宅医療の範囲は、医療機関と患者様の所在地が半径16km以内とされています。 ※特段の理由や事情がある場合は、この限りではありません。



医師数 22名 (令和7年1月現在)

末期がん治療 (緩和ケア) 相談室開設!

安全・安心・健康塾

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール) 現場の人達を救命救急士として教育する「安全・安心・健康塾」の出張講義をボランティアで行っております。



(医)東西会イメージキャラクター「イチゴ・ツル・カメ」 三世代の『絆』を表すキャラクターです。 イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

東京大学医学部臨床研究協力機関 愛媛大学医学部臨床研究協力機関 大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関 関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所 (医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788 http://www.touzaikai.jp/